

令和元年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成30年度分)

寒河江市教育委員会



## 目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	3
3.	教育委員会会議以外の活動	4
III	施策の体系	5
IV	外部評価委員の意見	7
1.	総括	7
2.	施策ごとの意見	7
V	点検・評価対象事業一覧	15
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	17

# I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成30年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成30年度に実施した教育委員会所管の66事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な42事業を対象に実施しています。

## 3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした42事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

## 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
三 浦 智 子	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
菊 地 宏 哉	元教員
大 沼 成 子	寒河江市スポーツ推進委員

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開 催 日	区分	議案 番号	件 名
平成30年 5月17日	定例	12	平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月20日	定例	13	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		14	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		15	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		16	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
7月24日	定例	17	平成31年度使用教科用図書の採択について
		18	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
8月21日	定例	19	教育委員会の事務事業（平成29年度分）の点検・評価について
8月27日	臨時	20	平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
9月19日	定例	21	寒河江市指定文化財及び寒河江市天然記念物の指定解除について
		22	寒河江市指定有形文化財の指定について
11月16日	定例	23	寒河江市市民プール、寒河江市市民体育館、寒河江市市民テニスコート、寒河江市市民弓道場、寒河江市市民体育館合宿所、寒河江市野球場及び寒河江市陸上競技場に係る指定管理者の指定について
		24	平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
12月21日	定例	25	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
平成31年 2月21日	定例	1	平成30年度教育費予算案に対する意見の申出について
		2	平成31年度教育費予算案に対する意見の申出について
3月6日	臨時	3	平成31年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について

開催日	区分	議案 番号	件 名
3月22日	定例	4	平成31年度教育行政の一般方針について
		5	公民館長の任命について
		6	寒河江市立図書館長の任命について
		7	寒河江市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について
		8	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		9	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
		10	寒河江市中学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について
		11	寒河江市教育委員会事務代決及び専決に関する規程の一部改正について
		12	寒河江市公立学校処務規程の一部改正について
		14	公民館整備事業費補助金交付規程の一部改正について
		15	寒河江市立図書館利用規程の一部改正について
		16	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について

## 2. 教育委員会協議会の開催

○開催回数 平成30年4月25日 ほかに11回

○報告及び協議内容

- ・平成30年度市民講座「さくらんぼ大学」について
- ・第42回“さがえ”さくらんぼマラソン大会について
- ・さがえトライアスロンフェスティバル2018について
- ・教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成29年度）の内容について
- ・陵東中学校体育館床改修工事について
- ・山形県市町村教育委員会大会について
- ・慈恩寺コンサートについて
- ・部活動指導員について
- ・エアコン設置計画について
- ・総合教育会議について
- ・市教委の視察研修について
- ・運動部活動ガイドラインについて
- ・平成31年度 教育行政の一般方針(案)について
- ・児童生徒事故報告について

ほか

### 3. 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
5月9日	醍醐小学校	7月3日	南部小学校
5月25日	陵西中学校	7月6日	陵東中学校
6月20日	三泉小学校		

#### (2) 総合教育会議

実施日	内 容
平成30年 9月27日	(1) これからの寒河江市の学校のあり方について (2) 学力向上について
平成30年 12月21日	(1) これからの寒河江市の学校のあり方について

#### (3) その他調査・研修活動

実施日	内 容
平成30年	
4月16日	教育委員会所管事項説明会
5月16日	小学校陸上競技大会
5月25日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月5日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
7月10日	市小学校水泳競技大会
7月13日	東北6県市町村教育委員会連合会教育委員教育長研修会
8月3日	山形県市町村教育委員会大会（本市開催）
8月14日	市成人式
9月21日	小中学校交歓音楽会
10月3日	公開授業研究（醍醐小学校）
10月12日	公開授業研究（三泉小学校）
10月24日	公開授業研究（南部小学校）
平成31年	
1月25日	長井市致芳コミュニティセンター視察研修
3月29日	退職教職員感謝状贈呈式

### III 施策の体系

## 第2次寒河江市教育振興計画

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
～ 共に学ぶ 共に育む ～

### 《基本方針》

### 《主要施策》

### 《具体的な施策》

**【基本方針1】**  
豊かな心と健やかな体を育む

- 1 思いやりの心や規範意識の醸成
- 2 命や生き方を大切にする教育の推進
- 3 健やかな体を育む取組の推進
- 4 食育の推進
- 5 心を育む読書活動の推進
- 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進

- 多様な体験と規範意識の醸成
- 基本的な生活習慣の確立
- 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進
- 元気に遊ぶ子どもの育成
- 学校体育の充実
- 豊かな心と命を育む食育の推進
- 幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進
- 地産地消の推進
- 本が好きな子どもの育成
- 自主的な読書活動の支援
- 芸術文化に触れる機会の充実
- 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

**【基本方針2】**  
学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

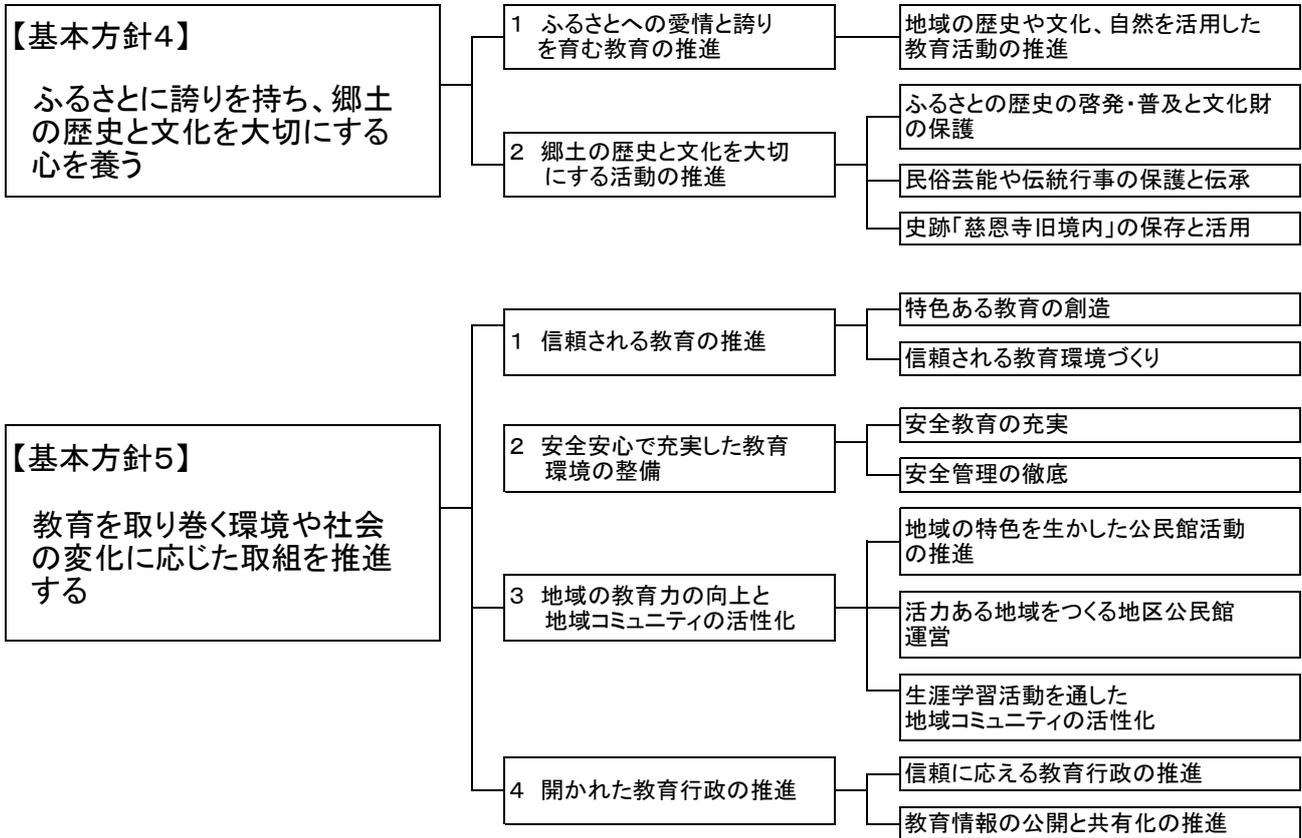
- 1 学びの充実と確かな学力の育成
- 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進
- 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進
- 4 発達に応じた学びを育む教育の推進
- 5 キャリア教育の推進

- 学ぶ力を高める教育の推進
- 主体的な活動ができる力の育成
- 多様な学習環境づくり
- 特別支援教育の充実
- 教育相談機能の充実
- ICTを活用した情報教育の推進
- 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進
- 幼児教育の充実
- 幼保小中高の連携の推進
- 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

**【基本方針3】**  
生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する

- 1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進
- 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進

- 生涯を通じた学習機会の充実
- 共に学び合う体制づくり
- 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進
- 競技力向上の推進
- スポーツ環境の整備と充実
- スポーツを通じた地域活性化の推進



## IV 外部評価委員の意見

### 1 総括

- 各事業の効果については、定量的な把握に留まりがちであるが、教育政策の質のさらなる向上に向けて、定性的な側面からの判断も不可欠である。また、短期間で効果が明らかとなる事業ばかりではなく、効果が生じるまでに長期的な取組を要する事業も多いため、その効果検証にあたっては、状況の推移を踏まえた分析・判断が求められる。これらの点を踏まえた情報の開示及び政策分析を実施することが肝要であると考えている。
- 「昨年度の『外部評価委員の意見』に対する対応について」のまとめの資料をいただき、教育委員会の事務局の皆様が各事業と真摯に向き合い、よりよい事業の推進や活性化を図ろうとしている意気込みが感じられました。
- 「評価時期」につきましては、諸事情により現行のとおりになっていると思います。もちろん、各事業が終了した時点で考察を加えて内部評価を行い、また、年間を通じて行う事業につきましては、中間評価を加えながら次年度の予算化に取り組んでいる事と思います。ですから、「評価が次年度(今年度)につながらない」との事務局側からの心配がありましたが、そのようなことはないと思います。内部評価をしっかり行い、次年度の予算化を行うとともに、さらに今後の各事業のよりよい推進を図るために外部評価委員の意見で参考になる考え方を取り入れていこうとするこれまでの流れでよいと思います。
- 各事務事業に点検、評価に表記されている具体的な数字の扱いが、よりの確な評価分析にするために、前年度比較だけでは足りないと思います。できれば、過去10年間との比較とか、10年間の平均との比較とか、全国や県の割合との比較などを行い、分析していくことがより公正で的確な評価分析につながると思います。また、明確な根拠に基づいた担当者側の数値目標の設定と実際との比較なども多面的に分析する際の一つの視点にもなるのではないかと思います。
- 各事業に対する評価について、長期的に見ているものと短期で結果が出てくるものがありますが、慣例化されているものについても必要性について詳しく記載することが大事であると思います。また、新規実施事業を分かりやすく明記していただくことで、方向性が見えてくると思います。

### 2. 施策ごとの意見

#### (1) 生涯学習の推進・充実

##### 【青少年健全育成事業】

- 補導件数の減少が、夕刻及び夜間街頭指導によるものであるかどうか明らかではない。少子化の程度や、補導事案の内容を考慮した件数の推移についても検証が必要ではないか。

青少年の健全育成に関しては、青少年教育関係諸団体の活動のみならず、学校の取組もまた重要な役割を担う。例えば、青少年の非行事案についての情報共有・早期対応を

図るための仕組みの構築など、関連機関間の連携に向けた具体的な手立てを講じることも必要ではないか。

- 市青少年育成センターの継続的な地道な取組により補導件数が減少している事は喜ばしいことです。ただ、ネット犯罪等のように潜在化したものに質的に変化しているのが懸念されます。引き続きよろしくをお願いします。
- 子ども・若者健全育成研修会が、「さがえっこを育むつどい」、「読書講演会」と合同開催されたことについての事業の評価を記載していただきたい。

#### 【芸術文化振興事業】

- 自主事業における入場者を対象としたアンケート結果等を踏まえた活動の充実が図られているが、実際には入場できなかった市民や、自主事業に高い関心を持ってないままでいる市民も存在するのではないか。芸術文化の振興に関する、より幅広い市民のニーズの受容・反映するための取組が工夫される必要もあるのではないか。
- 各年代に応じた様々な事業が展開されています。年代やねらいに即した事業の展開で、高い集客率を誇っているのはすごいです。芸術文化に身近に触れる機会ですので、アンケート等アンテナを高くしながら今後ともよろしくをお願いします。
- 各年代層に合わせた事業の取組は、高い集客率となっていることから市民の希望に合っていると考えられることから継続してほしい。反響が大きかった若者向け音楽ライブは、提供することだけでなく、スタッフやボランティアも若者を起用して若者たちの交流を図ってほしい。

#### 【美術館運営事業】

- 様々な企画展が実施されて素晴らしいです。さらに広報活動に力を入れ、市民に広く浸透させることが望まれます。
- 毎年行われている慈恩寺絵画コンクールを、市外にもPRし、出品範囲を拡大していくことで、来場者にも広がりが出てくると考えます。

#### 【公民館活動事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしくをお願いします。
- 少年少女合唱団の団員不足が毎年問題となっているが、寒河江市のイベント等に積極的に参加し、活動の場を広げて行くことで、認知度が上がりPR活動につながって行くと思います。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- 指導員や教室の確保にさらに力を入れることにより、すべての参加希望者の受け入れを可能にすることが望ましいと考える。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしくをお願いします。
- 中高生のボランティアを積極的に取り入れることで、子供たちの地域活動への参加を促し、小学生の模範にもなり、好循環となることを期待します。

**【公民館整備事業】**

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしくをお願いします。
- 各分館によって利用頻度は違ってくると思いますが、高齢者の利便性を図ることで、公民館活用度が高まるように考えます。

**【寒河江さくらんぼ大学推進事業】**

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしくをお願いします。
- 運営委員会の自主的運営の推進に期待します。  
毎年、公開講座が7月第一週に開催されているようですが、さくらんぼの収穫期間(紅秀峰)と重なることから、時期を変えることも検討していただきたい。

**(2) 読書活動の推進・充実**

**【読書の盛んな学校づくり事業】**

- 小学生の「読書時間」が全国平均を上回ったのは、読書活動推進員の配置数の増加による効果であるのか、必ずしも明らかであるとは言えない。中学生の「読書時間」の改善に向けた事業を充実させるためにも、読書指導の具体的内容や担任教員との連携の在り方、子どもの生活習慣など、他の要因による影響を考慮した分析を深める必要があるのではないかと。
- ここ数年5名の配置が有り、さらに充実した活動が展開されているようです。読書活動推進員同士の実践交流会や研修会も開催され質的の向上策も図られており、すばらしいと思います。
- 活字離れが進んでる中、読書習慣を身につけさせることの大変さを感じます。小学校で身につけたものが、中学校で継続できないのはなぜなのかを考えることも必要であると思います。

**【図書館管理運営事業】**

- 「カフェコーナー」の新設など、利用者目線で快適な環境整備がなされておりすばらしいと思います。さらに利用者側に立った運営をよろしくをお願いします。

**【図書館資料等購入事業】**

- 利用者ニーズの把握が適切になされているかどうかという点について、蔵書の利用状況を踏まえて検証する必要もあるのではないかと。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしくをお願いします。

**【読書普及事業】**

- 小学生の「読書時間」が全国平均を上回る一方で、中学生の読書習慣の確立が課題となるなど、「読書の盛んな学校づくり事業」のさらなる展開も期待されており、例えば、公立図書館と学校図書館との連携による事業展開についても検討する余地があるのでは

ないか。

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 図書館は視聴覚施設の役目もあると思いますが、市民が希望する映像の提供について、また、幅広い活用について期待します。

### (3) 生涯スポーツの推進・充実

#### 【生涯スポーツ振興事業】

- 様々な講座や教室等の開催事業の効果に関して、開催事業への参加状況のみならず、スポーツに親しむ習慣がその程度確立されているのかといった視点から、分析を行うことも必要ではないか。また、生涯スポーツという視点に立てば、長期的には、市民一人ひとりが幼少期からスポーツに親しむ習慣を確立させることのできる環境をつくるのが最重要課題となるものと考えられる。学校教育との連携についても検討する余地があるのではないか。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 市民のライフステージに合ったスポーツ環境の充実に向けた事業の継続を希望します。また、若者の全国大会出場等、競技力の向上には各方面の支援が必要と考えます。

#### 【体育施設整備事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 市民合宿所について、設備が古くなっていると聞いていますが、ベッド化するなど、利用されやすい設備に整備することを希望します。

#### 【地域スポーツ活性化事業】

- 「生涯スポーツ振興事業」との相違点として、東京オリ・パラを念頭に置き、障がい者スポーツを含む市民のスポーツへの関心の促進を図ることが挙げられるが、そのための具体的手立てに乏しいようにも感じられる。それぞれの事業の目的に相違があるのであれば、事業内容の特色化を図った上で実施・展開が求められるのではないか。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記となっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 市民を取り巻くスポーツ環境の機会が増え、スポーツに対する意識も高まってきていると思います。オリンピック後のスポーツ環境を踏まえ、交流の場となるような事業の展開を期待します。

### (4) 特色ある学校づくりの推進・充実

#### 【さがえっこ育み推進事業】

- 小中連携、あるいは幼保小中連携に向けた取組との関連、子育て推進にかかる事業との関連を持たせた事業実施により、本事業の周知ならびに学校・家庭・地域の連携によ

る取組の効果がより一層高まるのではないかと。

- 最近、関わりが持てずに孤立しがちな大人が増えていること、独りよがりな考えに端を発した重大事件が増えていること、本市の児童生徒の課題の一つとして不登校傾向が増えていることなどから、「さがえっこ育み10か条」の「みんなでかかわるみんなで育てる『さがえっこ』」や「子どもの行動 大人が手本」「つどい合い地域の行事に家族で参加」など強化していく必要性を感じます。
- 開かれた学校と地域住民の参加によって子どもたちを育むことは、心身ともに健やかに安全に成長できることを期待します。

#### 【特色ある学校づくり支援事業】

- 学校ごとに特色のある活動をそれぞれに実施することが、自治体全体でどのような効果を上げているのか。加えて学校ごとに異なる特色ある活動の具体的内容がどのように決定・実施され、どのような効果検証が行われているのか、明らかにされる必要があるのではないかと。
- 体験重視や地域学習の大切さが叫ばれている中、各学校の地域に根ざした特色ある教育活動を支える大事な事業だと思います。今後とも継続、必要に応じた拡充をお願いします。

#### (5) 児童生徒の学ぶ力の育成

##### 【教育研究推進事業・学力向上推進事業】

- 児童生徒の学力や教職員の意識に関する調査を実施することによって、現状を把握し、その課題を見出すことは非常に重要な取組であるが、これに留まらず、例えば、教員の資質能力の向上を目指すにあたって、教員の研修や公開研究会をどのように実施することが効果的であるのか等、課題を踏まえた具体的な対策をどのように講じるかという点が重要であると思われる。
- 教育研究所の組織が中学校区毎になり小中連携を深めようとする取組を始めて今年度で3年目になります。組織のあり方、研究の進め方を振り返り、今後に向けて検討する年だと思います。小中教育の一貫した学びの充実、道徳教育の充実、体験活動の充実、情報活用能力の育成など、新学習指導要領に沿った研究の推進と、不登校児童生徒の対応等について、ぜひ高めてほしいと思います。

##### 【理科教育センター運営事業】

- 「4 事業の実施状況」の「(3) 調査研究」に「指導案・小中理科大会要項等の情報収集等」とあります。ぜひ、市のサーバー等に作成した指導案等を蓄積するフォルダを作り、市内の先生方がそれぞれに作成した指導案等を保存しデータベース化して、互いに必要に応じて研修・活用できるシステムを構築していくことが望ましいと思います。(理科に限らず、各教科・領域のフォルダを作成し、市内の先生方が校内研究会などで作成した指導案を蓄積し、データベース化できたらすごい教育財産にすることができると思います。一人年間授業研究を2回するとすれば、市内で400以上の各教科各単元、各領域の指導案が1年で蓄積できる事になります。5年スパンで考えるとすばらしい授業実践資料が蓄積されることになるのではないのでしょうか。)

#### 【英語力育成事業】

- A L TやA E Tの派遣回数<sup>の</sup>妥当性について、教員はどのように評価しているのか。  
また、A L TやA E Tの派遣、English Day事業の実施によって、児童生徒の学びがどのように変化したのか、あるいは児童生徒が新たにどのような学びや経験をすることができたのか、といった質的な情報も、事業の評価を行う上で重要となるものと思われる。
- すばらしい支援が確立されていると思います。外国語教育の充実に向けて、継続してよろしくをお願いします。

#### 【教育相談事業】

- 不登校の解消を促進するための方策は特定することが難しい。未然防止に向けた対応の拡充にも力を入れ、教育相談員の配置数の増加等に留まることなく、不登校予備軍の早期発見・早期対応の実現・充実に向けた研究を深め、実施していく必要があるのではないか。
- 本市の中学生の不登校の出現率が高くなっていることに危機感を感じます。教育相談事業はもちろん、教育研究所の小中連携事業や青少年健全育成事業などとも連携しながら、対応をよろしくをお願いします。

#### 【学力向上支援員配置事業】

- 学力向上支援員の配置が学力向上を促進することを前提とした事業であるが、支援員のスキル向上をどのように担保するのか。また、支援員と教員との連携がより有効に機能する場面について分析を行う等の必要もあると考える。
- 名称を変更して意識改革を図り、一人一人を大事にしながら児童生徒の学力向上に向けた本市の教育委員会としての勢いを感じます。今後は支援の方法や具体例について、それぞれ教員や支援員にゆだねるだけでなく、教員や支援員の意識を統一したものに<sup>して</sup>指導の効果を高めるために、年度初めの段階などに全員で研修する機会や実践交流などを設けることも必要ではないか<sup>と</sup>思います。

#### 【障害児通学支援事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記な<sup>って</sup>おりますので、継続よろしくをお願いします。

#### 【小中学校 I C T活用支援事業】

- 反省に立ち、委託業務として支援配置して<sup>くださ</sup>ったことは、I C T教育を推進していく上で、大いに役立った<sup>と思</sup>います。また、校務支援システムを導入して<sup>くださ</sup>るなど、業務改善にも配慮して<sup>いただ</sup>いていることがすばらしい<sup>と思</sup>います。

#### 【就学援助事業（小学校）（中学校）】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記な<sup>って</sup>おりますので、継続よろしくをお願いします。

#### 【学校給食事業（小学校）（中学校）】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。

#### (6) 文化財の保存・活用の充実

##### 【市史編纂事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 多くの市民が、ふるさとの歴史について興味を持ち、誇りとなるよう、資料収集や発見について分かりやすく広報されていると思います。子供たちにも分かりやすい冊子なども希望します。

##### 【文化財保存活用事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 観音講など、地域住民の手で受け継がれている行事は後継者不足などから消滅の危機にあります。現存しているものについて目を向け、後世に残していくことを期待します。

##### 【埋蔵文化財調査事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。

##### 【郷土館保存事業】

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。
- 郷土館を知ってもらうために、市内の展示だけでなく、寒河江市に関連したものについて広く収集、展示してはいかがでしょうか。

#### (7) 教育行政に対する関心・意識の高揚

##### 【教育委員会事務局管理事業】

- 本事業の実施状況の評価にあたり、必要と考えられる具体的情報についての説明がやや乏しい印象を受ける。点検・評価調書に示された内容からは、予算の執行状況の妥当性をうかがうことが困難である。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしく申し上げます。

#### (8) 教育環境の充実

##### 【小学校管理事業】 【中学校管理事業】

- エアコン導入に関してその必要性を早期決断され、スムーズに設置できたことに感謝します。子どもたちにとって、よりよい学習環境が整備されたことでしょう。

**【学校保健事業（小学校）（中学校）】**

- 教職員検診におけるストレスチェックの受診率増加が、メンタルヘルスの向上等にどの程度寄与しているのか、検証する余地があるのではないか。
- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしくをお願いします。

**【教育振興事業（小学校）（中学校）】**

- 次年度は小学校、その次の年は中学校の指導要領改訂の年度になり、指導書等購入のために莫大な予算化が必要になりますが、学力向上のためにも、よろしくをお願いします。

**【ICT推進事業（小学校）（中学校）】**

- 時代の要請に応じて、タブレット導入をまずは小学校に導入し、次に中学校にも導入する計画が進められているのが素晴らしいです。

**【スクールバス運行事業】**

- それぞれに適切な「5 事業の評価」と「今後の対応等」が明記なっておりますので、継続よろしくをお願いします。

## V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	青少年健全育成事業	生涯学習課	基本方針 1 1	17
	芸術文化振興事業	生涯学習課	基本方針 1 6	18
	美術館運営事業	生涯学習課	基本方針 1 6	19
	公民館活動事業	生涯学習課	基本方針 5 3	20
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	基本方針 5 3	21
	公民館整備事業	生涯学習課	基本方針 5 3	22
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	基本方針 3 1	23
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	基本方針 1 5	24
	図書館管理運営事業	生涯学習課	基本方針 1 5	25
	図書資料等購入事業	生涯学習課	基本方針 1 5	26
	読書普及事業	生涯学習課	基本方針 1 5	27
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	基本方針 3 2	28
	体育施設整備事業	生涯学習課	基本方針 3 2	29
	地域スポーツ活性化推進事業	生涯学習課	基本方針 3 2	30
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育み推進事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5	31
	特色ある学校づくり推進事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5 基本方針 2 5 基本方針 4 1-2	32
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業・学力向上推進事業	学校教育課	基本方針 2 1	33
	理科教育センター運営事業	学校教育課	基本方針 2 2	34
	英語力育成事業	学校教育課	基本方針 2 3	35
	教育相談事業	学校教育課	基本方針 2 2	36
	学力向上支援員配置事業	学校教育課	基本方針 2 1-2	37
	障害児通学支援事業	学校教育課	基本方針 2 2	38

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	小中学校 I C T活用支援事業	学校教育課	基本方針 2 3	39
	就学援助事業（小学校）	学校教育課	基本方針 5 1	40
	就学援助事業（中学校）	学校教育課	基本方針 5 1	41
	学校給食事業（小学校）	学校教育課	基本方針 1 4	42
	学校給食事業（中学校）	学校教育課	基本方針 1 4	43
⑥ 文化財の保存・活用の充 実	市史編纂事業	生涯学習課	基本方針 4 2	44
	文化財保存活用事業	生涯学習課	基本方針 4 2	45
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	基本方針 4 2	46
	郷土館保存事業	生涯学習課	基本方針 4 2	47
⑦ 教育行政に対する関心・ 意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	基本方針 5 4	48
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	49
	中学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	50
	学校保健事業（小学校）	学校教育課	基本方針 1 3	51
	学校保健事業（中学校）	学校教育課	基本方針 1 3	52
	教育振興事業（小学校）	学校教育課	基本方針 5 1	53
	教育振興事業（中学校）	学校教育課	基本方針 5 1	54
	I C T整備推進事業（小学校）	学校教育課	基本方針 2 3	55
	I C T整備推進事業（中学校）	学校教育課	基本方針 2 3	56
	スクールバス運行事業	学校教育課	基本方針 2 1	57

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	生涯学習課
		生涯学習係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立	予算科目
教育振興計画		10 教育費
		4 社会教育費
		7 青少年育成センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	(1)青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 (2)青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	651	補正額等		合計	651	決算額	580
29	当初予算額	511	補正額等		合計	511	決算額	372

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市青少年育成センターにおいて、民生児童委員及び主任児童委員による年間23回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施し、市内の商業ビル、JR駅、レンタルビデオ店、カラオケボックスなどを巡回した。</p> <p>(2)青少年育成推進員が、本屋やコンビニにおける有害図書調査、成人式会場での薬物禁止のチラシ配布等を実施している。</p> <p>(3)子ども・若者健全育成研修会は、「さがえっこを育むつどい」ならびに「読書講演会」と合同で開催することで、より多くの市民に参加を呼びかけ、数内竜太氏より「好きこそもの上手なれ」と題して講演をいただき、読書を通して青少年の健全育成に対する見識を深めた。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)寒河江警察署管内における青少年補導件数の減少について、少子化の影響もあるが、民生委員児童委員等による夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による夜間街頭指導の継続も要因の一つとなっている。(H27 63件、H28 37件、H29 35件、H30 26件) (参考:20歳未満人口 H27 7,320人、H28 7,316人、H29 7,220人、H30 7,149人)</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夕刻及び夜間街頭指導を継続する。</p> <p>(2)子ども・若者健全育成研修会を、「いじめ・非行をなくそう」をテーマに実施していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	1 豊かな心と健やかな体を育む 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化にふれるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	14,879	補正額等		合計	14,879	決算額	14,509
29	当初予算額	10,788	補正額等	88	合計	10,876	決算額	10,808

## 4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の実施
①第7回悠久の里慈恩寺コンサート 千住真理子「ヴァイオリン・リサイタル」 8月25日(土) 入場者600名(H29 ウェイウェイ・ウー「二胡の響宴」530名)
②幼児演劇教室 劇団エンゼル「ごんぎつね」 10月17日(水) 入場者666名(幼稚園、保育園4・5歳児) (H29 劇団新児童「ミュージカル ききみみずきん」 入場者698名)
③若者向け音楽ライブ「SAGAE MUSIC DAY' 18」 12月9日(日) 入場者865名 (H29 よしもと爆笑ライブ in さがえ 932名(満席))
④漫才のDENDO in 寒河江 1月20日(日) 入場者936名(満席) (H29 特撰落語 三遊亭小遊三・円楽「二人会」 760名)
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援
①県美展寒河江移動展(同 実行委員会主催) 10月3日(水)～10月8日(月) 入場者552名 (H29 643名)
②第50回市総合文化祭(市芸術文化協議会主催) 10月26日(金)～11月3日(土) 11月3日の入場者500名 (H29 550名)
③第21回寒河江市音楽祭『春を呼ぶコンサート』 3月3日(日) 入場者920名 (H29 900名)
(3) 山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)
(4) 舞台づくり支援事業(演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)
①演奏力等向上支援事業 高校3回 社会教育団体6回 (H29 高校1回 社会教育団体6回)
②発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体2回 (H29 高校2回 社会教育団体2回)

## 5. 事業の評価

(1)自主事業においては各年代層に合わせた事業を展開し、それぞれ高い集客率となっている。(慈恩寺・お笑い100%、音楽ライブ95%)
(2)慈恩寺コンサートは初の悪天候で市民文化会館に会場変更となったが、特に大きな問題もなくスムーズに移行できた。しかし、会場変更時の対応(広報や看板設置など)をもう少し考える必要がある。
(3)初めて開催した若者向け音楽ライブ「SAGAE MUSIC DAY' 18」は、非常に盛り上がり反響もとても良かった。今後も継続し定番化していきたい。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)自主事業については、これまでもアンケート等とおして市民の意向にマッチするような事業を実施してきて好評を得ているので、今後も引き続き市民の方々に喜んでもらえる、芸術文化を楽しんでもらえるような自主事業を実施していく。 (2)「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各団体で実施する事業や、高校・社会教育団体の活動の支援についても引き続き行っていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	(1)常設展示のほか、「市民ギャラリー」で特別企画展や企画展を実施するとともに、ワークショップなどの体験企画を実施する。 (2)親しまれる美術館をめざして、施設整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	6,581	補正額等		合計	6,581	決算額	6,133
29	当初予算額	5,711	補正額等	△400	合計	5,311	決算額	4,855

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)特別企画展として、社会福祉施設関係者やボランティアスタッフと実行委員会を組織し、「アートツリーやまがたvol.7」を実施した。</p> <p>① 内容は、施設利用者や若手作家の作品展示、作者のミニトーク、体験企画等</p> <p>② 2月3日(日)～2月25日(月)に開催 来場者627名 (H29「アートツリーやまがたvol.6」2月4日(日)～2月26日(月)来場者750名)</p> <p>(2)主な企画展として、次の展示等を実施し、身近な芸術作品等にふれる場を提供した。</p> <p>① ワークショップ「夏休み工作」/8月5日(日)定員30組 来場者75名</p> <p>② 池田洸太個展/8月11日(土)～9月9日(日) 来場者382名</p> <p>③ 若手作家4人展/9月12日(水)～10月8日(月) 来場者308名</p> <p>④ 郷間正観名譽館長作品展/10月17日(水)～10月23日(火) 来場者240名</p> <p>⑤ 市総合文化祭(作品展示)/10月27日(土)～11月3日(土・祝) 来場者224名 (H29/10月27日(金)～11月3日(金・祝) 来場者160名)</p> <p>⑥ 慈恩寺絵画コンクール/11月14日(水)～11月28日(水) 来場者232名 (H29/11月14日(火)～11月28日(火) 来場者234名)</p> <p>⑦ 松田五郎作品展/3月1日(金)～4月3日(水) 来場者533名</p> <p>(3)照明器具(スポットライト)等の展示施設整備を行った。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)親子の交流を図った体験企画や郷土作家松田五郎作品展の企画展が好評だった。</p> <p>(2)今後も山形県で活動している若手作家等の発掘に努め、発表の場を提供し、体験企画も取り入れ、寒河江市美術館の活性化を図るための支援を続けていく。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)出展者が実行委員会を組織して実施する特別企画展について、実施しやすい環境づくりに努める。</p> <p>(2)子ども向けの体験企画など、企画展の充実に引き続き取り組む。</p> <p>(3)館内設備等を整備し、市民や市出身者の作品発表の場や、広報活動にも一層力を入れ、芸術活動の拠点として親しまれる美術館づくりを進めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費

## 2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会、発表会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成指導を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	4,234	補正額等	合計	4,234	決算額	4,011
29	当初予算額	4,089	補正額等	合計	4,089	決算額	3,939

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)生涯学習活動や地域活動の拠点として、豊かな人づくりのほか、地域に親しまれる公民館をめざし、各種事業を展開した。</p> <p>①分館活動／市内61分館の分館長・分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動を展開した。</p> <p>②生涯学習活動推進員／16名の推進員が、公民館事業の運営等に協力して取り組んだ。(H29/23名)</p> <p>③公民館活動に向けた用具等整備／事業実施のための運動用具や印刷用消耗品等を各公民館に整えた。</p> <p>④学びのふるさと推進事業／生涯学習の地域力の向上と地域づくりのため、事業共催を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域塾事業／分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会等 (元町分館)</li> <li>・分館連携事業／分館と地区公民館が連携し地域活性化を図る活動 (石持町分館、下河原分館、泉町分館、幸生分館)</li> <li>・社会教育団体との共催事業／全市のまたは地区を対象とした学習事業や生涯スポーツ振興事業 公民館大会 (2月11日(月・祝))、子ども育成連合会役員研修会 (2月17日(日))、地区民レクリエーション大会や文化祭等</li> </ul> <p>⑤寒河江市少年少女合唱団の育成／小学生から高校生までの20名で構成。市内外の演奏会出演や施設訪問等を行った。(H29/21名)</p> <p>⑥各公民館運営会議等の開催／各公民館の事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の企画や実施に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館運営審議会／8名 年1回 (H29/8名/年1回) ・東部地区公民館運営会議／16名 年1回 (H29/16名/年1回)</li> <li>・南部地区公民館運営会議／11名 年2回 (H29/11名/年2回) ・柴橋地区公民館運営会議／13名 年1回 (H29/13名/年1回)</li> <li>・西部地区公民館運営会議／20名 年1回 (H29/20名/年1回)</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)各公民館と市内61分館で組織する公民館連絡協議会が連携して研修会等を実施し、分館活動の活性化を図った。</p> <p>(2)地区公民館では、各種団体と協力しながら、レクリエーション大会や文化祭などを実施し、地域づくりに努めた。</p> <p>(3)中央公民館や地区公民館は、運営審議会や運営会議で意見を聴き、各公民館や地域の特色を生かした事業を実施した。</p> <p>(4)寒河江市少年少女合唱団は、第43回定期演奏会、県・日本少年少女合唱連盟合同演奏会、市総合文化祭、福祉施設訪問等で美しい歌声を披露した。今後は、将来を担う小学生団員を増やすことが大きな課題であり、PR活動にも力を入れ、団員募集に取り組んでいく。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)地域コミュニティの活性化を図るため、各地区公民館の広報活動について、より一層の充実を図っていく。</p> <p>(2)各地区レクリエーション大会や研修会等を通して、分館と地区公民館の連携を一層強めながら活力ある地域づくりをめざしていく。</p> <p>(3)中央公民館は、寒河江市少年少女合唱団新規団員の募集を図りながら、演奏やボランティア活動等の指導にあたりとともに、市民館連絡協議会や市子ども育成会連合会等、全市の団体の活動を支援していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課
			生涯学習係
施策体系 教育振興計画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費

## 2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	1,840	補正額等		合計	1,840	決算額	1,362
29	当初予算額	1,939	補正額等		合計	1,939	決算額	1,406

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市内全10小学校児童を対象に、5教室を設け、各教室とも夏休み等を中心に10日間開催した。 【内容】夏休みおさらい学習などの学習活動やカーン及びグラウンド・ゴルフのスポーツ体験、七夕飾り作りやペットボトルロケット作りなどの工作活動、昔語りや手品体験、県内外の施設見学など、その他様々な活動を実施した。 【参加人数等】 ・コーディネーター 5名(前年度比増減なし) 教育活動推進員 39名(前年度比増減なし) 参加者総数 321名(前年度比8名増) (参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小130名(前年度比 27名増) 寒河江中部小82名(前年度比 7名減) 南部小34名(前年度比 2名減) 柴橋小49名(前年度比 12名減) 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小26名(前年度比 6名増)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)各教室において、事業内容に工夫をこらし、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。 (2)各教室とも、指導員の後継者不足が心配されている。 (3)放課後児童クラブとの連携やこの教室の経験者(卒業生)が中学生になってから、ボランティアスタッフとして参加し、子ども達の面倒をみてくれるという好ましい流れは継続しており、今後も継続していく。 (4)教室によっては、会場の都合上、参加希望者を全て受け入れられない状況です。拡充したくても、そのような場所がないことが課題となっている。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。 (2)指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。 (3)この事業を通して、子ども達の地域活動への参加促進につながっていく流れをつくっていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	(1)分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。 (2)平成28年度から新たに修繕及び設備の整備(エアコン設置・照明のLED化)が、補助の対象になる。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	14,937	補正額等		合計	14,937	決算額	14,246
29	当初予算額	15,148	補正額等	15,103	合計	30,251	決算額	30,251

## 4. 事業の実施状況

(1) 麓分館照明LED化工事	事業費 484,380円	面積等 11台	完成年月日 平成30年 5月 9日	補助金額 161,000円
(2) 箕輪分館駐車場舗装工事	事業費 3,002,400円	面積等 706㎡	完成年月日 平成30年 6月 1日	補助金額 2,311,000円
(3) 雲河原分館木床組交換工事	事業費 1,836,000円	面積等 59.62㎡	完成年月日 平成30年 6月 8日	補助金額 1,360,000円
(4) 田代分館トイレ改修工事	事業費 756,000円	面積等 2カ所	完成年月日 平成30年 6月11日	補助金額 504,000円
(5) 中河原分館エアコン設置及び照明LED化工事	事業費 269,362円	面積等 一式	完成年月日 平成30年 7月30日	補助金額 89,000円
(6) 上野分館床改修工事	事業費 817,000円	面積等 41.25㎡	完成年月日 平成30年 7月31日	補助金額 545,000円
(7) 平塩分館エアコン設置工事	事業費 641,520円	面積等 2台	完成年月日 平成30年 7月26日	補助金額 213,000円
(8) 北部分館手すり設置工事	事業費 220,320円	面積等 5カ所	完成年月日 平成30年 7月31日	補助金額 73,000円
(9) 舟橋分館耐震補強等改修工事(耐震補強・トイレ改修・エアコン設置・内外部改修)	事業費 14,202,000円	面積等 一式	完成年月日 平成30年 9月13日	補助金額 7,725,000円
(10) ひがし分館照明設備更新工事	事業費 874,800円	面積等 32基	完成年月日 平成30年 10月18日	補助金額 291,000円
(11) 入倉分館トイレバリアフリー化改修整備工事	事業費 1,038,960円	面積等 一式	完成年月日 平成30年 11月12日	補助金額 831,000円
(12) 麓分館エアコン設置工事	事業費 221,103円	面積等 1台	完成年月日 平成30年 12月30日	補助金額 73,000円
(13) 本楯分館照明LED化工事	事業費 210,000円	面積等 13台	完成年月日 平成31年 2月13日	補助金額 70,000円

(平成29年度整備件数 14分館(15工事) 事業費 30,251千円)

## 5. 事業の評価

12分館において整備が図られ、地域活動の活性化に繋がった。
-------------------------------

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 (2)分館の耐震化について、地域における拠点施設として安心安全を確保するため、引き続き推進していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり		

## 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、誰もが自己実現のため生き生きと学び、学びを通じた触れ合いで人とひとがつながり、学びの成果が地域で輝きまちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1) 中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした、市民講座を実施する。 (2) 講師は著名人や地域で活躍する方などを、幅広く選定する。 (3) 講座の実施にあたっては、受講生による運営委員が主になり、自主的運営を進めていく。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	2,207	補正額等		合計	2,207	決算額	1,995
29	当初予算額	3,388	補正額等		合計	3,388	決算額	3,139

## 4. 事業の実施状況

<p>中央公民館と4つの地区公民館の5キャンパスにおいて、6学部1大学院の構成で市民講座を実施。受講生延べ249名 ・開講講座／7月7日(土)中公ホール さとみの漬物講座企業組合理事長 新聞さとみ氏「食の知恵と美味しさを求めて」受講生121名 (H29/中央公民館と4地区公民館の5キャンパス6学部1大学院 受講生延べ223名 開講講座／7月8日(土)ハートフルセンター 夏季五輪平泳ぎ金メダリスト・スイミングアドバイザー 岩崎恭子氏「幸せはいつも自分でつかむ」受講生172名) ・キャンパス及び学部構成 (1) 中央キャンパス(中央公民館) ①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」／慈恩寺の歴史についての講義と、中心散策コース(仁王坂コース)を巡る現地研修を実施。 7月26日(木)～10月19日(金)4回 受講生延べ48名 (H29 受講生延べ50名) ②生き生き元気学部／主に60歳以上の方を対象に、ヨガ、絵手紙、音楽講座等を実施。 8月31日(金)～11月8日(木)4回 受講生延べ191名 (H29 受講生延べ165名) ③歴史学部／明治維新150年記念講座として、庄内藩土清河八郎、戊辰戦争の講話や市内に点在する戊辰戦争跡地散策を実施。 9月5日(水)～11月30日(金)4回 受講生延べ260名 (H29 受講生延べ251名) (2) 東部キャンパス(東部地区公民館) ①アクション交学部／スパイスだけで作るカレー調理体験、異文化交流講座、秋の山歩き、花笠踊りの披露・体験を実施。 9月2日(日)～11月14日(水)4回 受講生延べ109名 (H29 チャレンジ翔学部／受講生延べ111名) (3) 南部キャンパス(南部地区公民館) ①第二の人生設計学部／人生設計講座、第二の人生トーク、トリオ・アラモーレの生演奏を実施。 8月18日(土)～11月23日(金・祝)4回 受講生延べ202名 (H29 お楽しみ映画学部／受講生延べ147名) (4) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館) ①ふるさと匠の技学部／和紙漉き体験、月山和紙でぼんぼりづくり、山形和傘、和紙ちぎり絵講座を実施。 7月16日(月・祝)～10月5日(金)4回 受講生延べ115名 (H29ふるさと匠の技学部／受講生延べ133名) (5) 西部キャンパス(西部地区公民館) ①地域発見学部／谷沢梅講習会、マルタ醸造(株)工場見学とランチ、炭焼き体験等を実施。 7月14日(土)～12月9日(日)4回 受講生延べ100名 (H29 受講生延べ115名) ・地域マスター養成講演会／1月27日(日)中央公民館 東北リレー・ジョンシップ 代表 多田祐也氏の講話とワークショップ(体験) 心のマスター養成講座～見えない世界からつながる世界へ～「ぶらいんどれすとらん」申込者40名(参加者35名)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)「学びで築く ひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに、6学部1大学院で市民講座(5年目)を実施した。また、地域づくりや地域での支え合いの活動をリードする人材を育成するため「地域マスター養成講演会」を実施した。 (2)キャンパス・カフェ等で受講生相互の交流を深めたほか、講座の実施にあたっては、運営委員が活躍した。 (3)講座終了後の運営委員会で次年度の学部構成や講座内容について検討し、地域住民のニーズを企画・運営に取り込んだ。新規受講者獲得と平均年齢の引き下げが課題である。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 令和元年度も、慈恩寺について高度に専門的に学ぶ「大学院」を継続して開設する。 (2) 学部や講座内容を一部見直して、新たな受講者を募り、仲間づくりの輪を広げる。 (3) 開講講座をスケールアップして、より知名度のある講師を招聘し「公開講座」を実施する。 (4) 運営委員会を中心に「自分たちがつくる講座」をめざして、自主的運営を一層推進する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成		1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	(1) 読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。 (2) 「図書館管理システム」を有効に活用することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	5,652	補正額等		合計	5,652	決算額	5,440
29	当初予算額	5,652	補正額等		合計	5,652	決算額	5,388

## 4. 事業の実施状況

(1) 読書活動推進員の配置	① 配置人数 5名 ② 配置校 寒河江小・西根小・(陵東中) 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・(陵南中) 醍醐小・高松小・(陵西中) 白岩小・幸生小 ③ 業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務 ④ 勤務体制 年間200日程度、各小学校に曜日ごとに2～3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応
(2) 読書環境の整備	① 図書館管理システムのサポート業務の委託
(3) 平成30年度 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における「読書時間」(1日30分以上)の回答状況 ※()は平成29年度	小: 市43.4(33.1)% 国41.1(36.5)% → 前年比10.3%(全国比2.3%) 中: 市26.9(25.6)% 国30.9(29.2)% → 前年比1.3%(全国比-4%)

## 5. 事業の評価

(1) 図書環境の整備や蔵書整理、児童生徒に対する読書の啓発活動、ブックトークや読み聞かせなど、特に国語の授業支援に積極的に関わり、担任と連携を取りながら児童生徒の学びを充実させることができた。
(2) 各学校に導入している図書館システムにより、蔵書や貸出・返却状況を把握するだけでなく、一人一人の読書冊数や読書傾向も把握することができ、読書指導に役立っている。
(3) 平成27年度より配置数が5人(1日6h)になり、児童生徒への図書指導や環境の整備が充実してきている。事業を4年間継続してきたことで、小学生の「読書時間」が全国平均を上回った。中学校への配置回数が少なく、中学生の「読書時間」は全国平均を下回っている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 読書の盛んな学校づくりの推進や、読書が好きな児童生徒の育成のために、配置している5名の読書活動推進員で、市内すべての小中学校を受け持つ体制を今後も継続していく。 (2) 各中学校への派遣回数を増やし、中学校の図書館の環境整備及び、啓発活動を充実させていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援		4 社会教育費
			5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	(1) 図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託する。 (2) 経年劣化に伴う施設設備の整備、修繕を計画的に行う。 (3) 更なる読書環境の充実のため市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	23,591	補正額等	2,119	合計	25,710	決算額	25,395
29	当初予算額	23,547	補正額等		合計	23,547	決算額	22,775

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、管理運営業務等
① 設備管理業務、機械警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守 外 業務委託
② 図書館情報システム貸借、駐車場貸借 外
(2) 工事、修繕等
消防設備、冷暖房設備、照明器具等の修繕のほか、9月の大雨で発生した漏水関係の修繕、そして7月からオープンした「カフェコーナー」の設置工事に当たった。
(3) 利用状況
① 入館者数 109,649人(4,336人増) ② 開館日数 329日(2日増)
③ 貸出者数36,950人(771人増) ④ 貸出冊数141,843冊(2,126冊増)

## 5. 事業の評価

(1) 図書館の適切な管理運営と「カフェコーナー」の設置により快適で利用しやすい環境を提供している。
(2) 突発的に発生した施設の漏水については、迅速に復旧に対応し、最小限の被害に留めることができた。
(3) 施設等の維持管理による安全性と、図書館機能の充実による利用者のニーズに対応したサービスの向上に努めており、入館者・貸出数ともに利用増に転じている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 図書館施設の適切な管理運営に努め、利用者サービスの向上を図り、安全で安心な環境の維持管理を行う。 (2) 貸出対象範囲拡大の効果による入館者・貸出者・貸出冊数等の増加を図る。 (3) 生涯学習の拠点として誰もがいつでも快適に利用できる図書館づくりを進める。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。
事業内容	(1) 利用者の幅広いニーズに対応するため蔵書の整備を進めた。 (2) 一般図書、児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入した。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	9,097	補正額等		合計	9,097	決算額	9,082
29	当初予算額	8,817	補正額等	5,000	合計	13,817	決算額	13,734

## 4. 事業の実施状況

(1)図書館蔵書状況(平成31年3月末)			
① 一般書	102,468冊	(前年度比 1,601冊増)	「購入冊数 2,911冊」
② 児童書	30,433冊	(前年度比 933冊増)	「購入冊数 1,006冊」
③ 視聴覚資料(音響・映像)	2,680点	(前年度比 27点増)	「購入点数 27点」
④ 雑誌等	2,750冊	(前年度比 5冊減)	「購入冊数 900冊」

## 5. 事業の評価

(1) 郷土の歴史や文化、地域情報誌など幅広い資料の収集と整備に努め、「寒河江の人物・行事」リーフレットを毎年作成し、市内の小中学校等に配布している。
(2) 乳幼児期からの読書機会を提供するため、ブックスタート絵本の継続購入やおはなし会用の大型絵本・紙芝居等を購入した。
(3) 図書館に備えておくべき図書資料等を基本とし、ニーズの高い新刊図書資料等の選定やリクエストに応えた図書資料等の購入により、幅広い利用者層に対応した蔵書の充実を図った。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者ニーズを的確に把握し、図書資料等を幅広く継続的に購入していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援		4 社会教育費
			5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書への興味と関心を促すため、読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。
事業内容	読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー等を継続的に実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	2,257	補正額等		合計	2,257	決算額	2,033
29	当初予算額	2,646	補正額等		合計	2,646	決算額	2,373

## 4. 事業の実施状況

(1) 定例事業
① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回 前年度比増減なし)
② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年)
③ 「最新新刊書コーナー」「ブックテマコーナー」「ミニブックテマコーナー」等の設置(通年)
④ 「ティーンズコーナー」の拡大
⑤ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(182名 前年度比10名減)
⑥ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回 前年度比増減なし)
⑦ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回 前年度比増減なし)
⑧ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(13団体 前年度比3団体増)
(2) 図書館自主事業
① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 7月1日 文化センター 210名参加 前年度比8名増)
② 「さがえ図書館まつり2018 夏まつり」の開催 (8月5日 図書館 322名参加 前年度比22名減)
③ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催 (9月～10月・全3回 図書館、現地視察 延べ108名参加 前年度比6名減)
④ 「藪内竜太氏 読書講演会」の開催 (11月17日 文化センター中央公民館ホール 128名参加 前年度比86名増)
⑤ 「くすくす人形劇公演」の開催 (11月1日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象 396名参加 前年度比86名増)
⑥ 「さがえ図書館まつり2018 冬まつり」の開催 (12月9日 図書館 380名参加 前年度比89名減)
⑦ 「ビブリオバトル」(東北芸術工科大学とのコラボレーション企画)の開催(12月9日 図書館 25名参加 前科年度比8名減)
⑧ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示

## 5. 事業の評価

(1) 定例事業の定着化や図書館自主事業の継続的な実施により、図書館や読書への関心を高め読書の普及拡大につながっている。
(2) 乳幼児期からの読書推進を目的とした「ブックスタート事業」、ボランティアグループによる「おはなし会」など好評を得ている。
(3) 中高生を対象とした「ティーンズコーナー」の拡大や旬をテーマにした「ブックテマコーナー」の継続等、読書活動の広がりにつながっている。特に利用カードの登録者数が、前年度より15%ほど増加しており、今後の利用増に期待できる。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 魅力ある読書普及事業を継続的に実施し、読書機会の提供と広がりにも努める。 (2) 市のホームページやメールマガジンを通して細かい情報提供を継続するほか、新たに貸し出し窓口にも情報紙を設置したり読者の意欲を高めるコーナーを設ける等読書の啓蒙を図る。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)年間を通じた体育施設の利用促進とスポーツの振興を図るため、指定管理者や各スポーツ団体と連携し各種大会・教室等を開催 (2)スポーツ環境の基盤整備とライフステージに応じた生涯スポーツを推進した。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	5,046	補正額等	434	合計	5,480	決算額	5,455
29	当初予算額	8,002	補正額等		合計	8,002	決算額	7,972

## 4. 事業の実施状況

<p>市スポーツ推進委員の協力と一般社団法人寒河江市体育協会への一部事業委託により、多彩なスポーツ教室や講習会等を実施し、多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供した。また各種スポーツ大会等を開催し、競技力向上と指導者の育成に努めた。</p> <p>(1)生涯スポーツ推進事業</p> <p>①市スポーツレクリエーション祭(1回 481名)(※H29:1回 508名) ②市民スキー教室(1回 87名)(※H29:1回97名)</p> <p>③ちびっこスポーツ教室(20回 477名)(※H29:10回 265名) ④ジュニアスポーツ教室(20回 379名)(※H29:10回 223名)</p> <p>⑤成人スポーツ講座(8回 42名)(※H29:8回 65名)</p> <p>(2)ニュースポーツ出前教室(5回 5種目 347名)(※H29:6回 6種目 378名)</p> <p>(3)スポーツ少年団育成事業(指導者・育成母集団研修会 1回 50名)(※H29:指導者・育成母集団研修会 1回 70名)</p> <p>(4)市体育協会育成事業(表彰・激励事業、モンテディオ山形支援事業、スポーツ講演会事業、スポーツ少年団活動支援事業)</p> <p>(5)さくらんぼマラソン大会事業(参加者2,692名)(※H29:参加者2,242名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)生涯スポーツ推進事業については「一般社団法人寒河江市体育協会」が、ニュースポーツ出前教室については「寒河江市スポーツ推進委員」が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を展開した。</p> <p>(2)市民がスポーツに親しむ機会を数多く提供してきたことで、スポーツ習慣の定着とスポーツ人口の拡大につながっている。</p> <p>(3)各種スポーツ大会等の開催により、競技力の向上と指導者等の育成が図られている。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)本事業については、誰もが参加でき、スポーツに親しむことができる事業を中心に実施してきた。 (2)平成31年度については、一般社団法人寒河江市体育協会との連携を深め、地域における生涯スポーツを推進する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系 教育振興計画	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進 スポーツ環境の整備と充実	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館の利用環境向上のに向けて施設の補修等を行う。 (2)市民プールを適正に運営するために必要な各種改修等を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	5,719	補正額等	△ 434	合計	5,285	決算額	5,228
29	当初予算額	5,352	補正額等		合計	5,352	決算額	5,352

## 4. 事業の実施状況

(1) 体育施設について、次の業務を実施した。	
① 寒河江市市民体育館剣道場床補修	205 千円
② 寒河江市市民体育館西廊下及び便所照明器具修繕	285 千円
③ 寒河江市市民プール(日本水泳連盟)再公認料	54 千円
④ 寒河江市市民プール日本水泳連盟公認測量業務委託料	40 千円
⑤ 寒河江市市民プール改修工事(水槽内塗装)	2,808 千円
⑥ 寒河江市市民プール残留塩素濃度管理装置改修工事	1,836 千円

## 5. 事業の評価

(1)市民体育館の良好な環境維持のため、各種補修等を計画的に行ったことにより、安全・快適に利用された。 (2)市民プールの適正な運営のために不可欠な改修等を行ったことにより、日本水泳連盟公認をはじめとする各種大会が開催された。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	体育施設の適正な利用環境を維持するため、施設の整備・改修等を計画的に進めていく。更に、施設の個別管理計画の策定に取り組み、市全体の公共施設の維持管理計画の中で適正に運営していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化推進事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興 計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)さくらんぼマラソン大会、トライアスロン大会等の開催事業。 (2)スポーツ競技力向上に向けた補助事業及び全国大会等出場者への激励事業。 (3)東京オリ・パラを契機とした市民のスポーツへの関心の高まりと、障がい者スポーツの振興に向けた支援事業。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	16,883	補正額等		合計	16,883	決算額	14,354
29	当初予算額	8,483	補正額等		合計	8,483	決算額	7,339

## 4. 事業の実施状況

<p>東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした市民のスポーツへの関心を高めることを念頭に、各種大会、研修会等の開催と支援を行った。また、全国大会等出場者への激励事業を実施し、更に競技力向上と指導者育成に向けたスポーツ講演会や障がい者スポーツ振興のための交流事業等を行った。</p> <p>(1)さくらんぼマラソン大会負担金 10,000千円 (2)トライアスロン大会負担金 1,000千円 (3)障がい者スポーツ関連事業負担金 (パラリンピアン交流事業 810千円、義足体験事業 200千円) (4)全国大会等出場激励金 (52件) 315千円 (5)スポーツ講演会 (120名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)東京オリンピック・パラリンピックを念頭に各種事業を行い、更に地域おこし推進員を配置した結果、スポーツへの関心が高まり、広報活動の充実と大会参加者等の増加が図られた。 (2)スポーツ競技力の向上が図られ、全国大会等の上位大会出場への支援と励みに繋がった。 (3)障がい者や障がい者スポーツへの理解が深まり、交流が促進された。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした市民のスポーツへの関心を高めるため、各種事業を進める。 (2)グリバーさがえの施設環境を活用したトライアスロン大会開催への支援など、効果的な事業展開を図る。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	さがえっこ育み推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	<b>【基本方針1】</b> 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	子どもたちを育むための指針「さがえっこの育み10か条」を核とし、学校・家庭・地域が連携しながら広くその取り組みを推進し、未来を担う子ども達を健やかに育む。
事業内容	さがえっこ育み推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援する仕組みづくりを行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	5,259	補正額等		合計	5,259	決算額	4,672
29	当初予算額	4,202	補正額等	87	合計	4,289	決算額	4,170

## 4. 事業の実施状況

(1) 推進本部の設置	①教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年2回開催し、事業の推進方策等を検討 ②平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、年度始めにリーフレットを6,500部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員、に配布。加えて、ミニのぼり旗75セットを作成し、学校、公民館などに掲示 ③ポスター100枚を作成し、幼稚園・保育所、小中学校、公民館等に配布・掲示 ④「さがえっこの育み10か条」について、PTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施 ⑤「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 「寒河江市青少年育成市民会議」ならびに「読書講演会」と合同で開催した。 藪内竜太氏の講演「好きこそものの上手なれ～動物画家 藪内正幸」により、読書によって広がる心と世界について見識を深めた。
(2) 学校支援地域本部事業	①各小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 2,977人 (H29 2,227人) ②部活動指導員を1名、2つの中学校へ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術向上につなげた。

## 5. 事業の評価

(1) 「さがえっこの育み10か条」の普及	小中学校では、学校の実態に合わせ、それぞれ、「さがえっこの育み10か条」に関わる取り組みを展開した。 リーフレットやポスターを公共機関に配布し、掲示することで、「さがえっこの育み10か条」が多くの人の目に触れ、浸透してきている。
(2) 学校支援地域本部事業についてもすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。	学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者の協力の下、各学校の教育活動の充実につながった。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 令和元年度は”のぼり旗”を作り、各小中学校へ掲示することで児童生徒ならびに保護者の認知度を高めていく。 (2) 「さがえっこ育みフォーラム」をライフデザインセミナーと共同開催し、子育てや家族との向き合い方について考える機会を設ける。 (3) 学校支援地域本部については、部活動指導員の時間増を含め、これまで以上に学校へ関わっていただける地域住民を増やしていく。 (R1予算 6,792千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	特色ある学校づくり推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	<b>【基本方針1】</b> 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援 <b>【基本方針2】</b> 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 5 キャリア教育の充実 社会的・職業的自立に向けた教育の推進 <b>【基本方針4】</b> ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進 2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
		教育振興計画	

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するため
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	3,050	補正額等	1,290	合計	4,340	決算額	4,290
29	当初予算額	3,000	補正額等		合計	3,000	決算額	2,950

## 4. 事業の実施状況

(1)各学校では、第2次教育振興計画の基本目標に迫るため本事業を活用し、家庭や地域と連携した取組を展開している。 豊かな心と健やかな体づくりの学習・・・食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、読書の盛んな学校づくり活動など ふるさとに関わる学習・・・慈恩寺の歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習など (2)ベンチャーマインド事業として、地域の企業の方からお話を聞くなどし、起業家精神を養う活動を行った。
--

## 5. 事業の評価

(1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における特色ある教育活動や体験的な活動を計画し展開している。 (2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当を行っている。 →各学校ごと教育効果が上がるような活動を考え、主体的に工夫を凝らした活動を展開できた。 (3)ベンチャーマインド事業については、児童が新たな視点を得るよい機会となった。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校において、特色ある活動を実施するうえでなくてはならない事業になっている。 今後も、“ふるさとに関する学習”や“豊かな心と健やかな体づくり”に関し、より学校独自の活動が展開できるようにしていく。また、ベンチャーマインドの活動についても継続し、児童の主体的な活動を増やせるようにしていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業・学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費 4 教育研究所費

## 2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1)教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2)学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	8,223	補正額等	150	合計	8,373	決算額	7,622
29	当初予算額	8,142	補正額等		合計	8,142	決算額	6,952

## 4. 事業の実施状況

(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査 ①小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上) ②小2、4、6、中1における知能検査の実施 ③中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回) ④小4、中1における全国学力調査業者テスト(標準学力調査)の実施
(2) 教育研究所 ①研修部 22部会(陵東・陵南区各7部会、陵西学区4部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)各2回 ②研修会 ○全体研修会(7月31日) 山形大学大学院教育実践研究科 教授 佐藤 節子氏 「子どもたちの笑顔・意欲があふれる学級・学校づくりをめざして～教育相談のスキルを磨こう～」 ③学力向上対策委員会 ○学力対策委員会の開催(5月・1月) ○教研式NRT学力検査結果の分析と、報告書「つけたい力」の作成・配布 ○結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み ④課題研究部会 ○各校の英語教育の現状と課題について ○高学年「外国語活動」の授業研究(寒河江小第5学年) ○CAN-DOリスト(学習到達目標の作成) ⑤公開授業研究会 ○中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(三泉小、南部小、醍醐小)

## 5. 事業の評価

(1) 研修部会 各学区の課題を洗い出し、課題を解決するためにはどのような取り組みをすればいいの話を話し合いながら情報交換を行ったり、小中お互いの授業を見合ったりすることで、中学校区ごとの小中連携を進めることができた。
(2) 全体研修会 子どもたちとのより良い関係づくりや教育相談のあり方について、具体的な事例をもとに講演をいただいた。参加者にとって、2学期からの学級経営に活用できるものであった。
(3) 学力対策委員会 委員の先生方から、NRT学力検査をもとに、小中連携を意識して「つけたい力」を教科ごとに明らかにして提案するとともに、各校での学力向上の取り組みについて実践発表をしていただき、各校での学習指導や指導改善に役立てることができた。
(4) 課題研究部会 各小中学校の英語教育の現状と課題の情報交換、公開授業を通じた、外国語活動のイメージの共有、学習到達目標の作成など、これからの英語教育のあり方について、共通理解を図ることができた。
(5) 公開授業研究会 中学校区ごと授業公開することによって、中学校区ごとの小中連携を図りながら、授業改善をより強く進めることができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育研究活動負担金を1校当たり7万円から10万円に増やし、小中連携から、幼保小中連携へと連携の幅を広げていく。 (R1予算 8,533千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 理科教育センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	159	補正額等		合計	159	決算額	154
29	当初予算額	159	補正額等		合計	159	決算額	151

## 4. 事業の実施状況

(1) 運営委員・所員合同会の開催 (4月・2月)	
(2) 研修活動の実施 (参加状況・研修内容)	
一般研修	14名(H29 9名) [「有機ELに関する概要と施設見学」]
小3年研修	15名(H29 15名) [「風とゴムの力」]
小4年研修	10名(H29 13名) [「水のすがたと温度」「物のあたたまり方」]
小5・6年合同研修	22名(H29 17名) [「植物の成長」「物のとけ方」「てこのはたらき」「水溶液の性質とはたらき」]
中学校研修	[「エアートラックの作成」「地デジアンテナの作成」]
(3) 調査研究	(指導案・小中理科大会要項等の情報収集等)
(4) 備品器具の貸し出し	(理科センター備品・教材貸出)
(5) 所報の発行	(3月発行 第54号)

## 5. 事業の評価

(1) 小学校では、今後の授業づくりに生かすことができる教材や、理科の楽しさや面白さを、子どもたちに感じさせることができる観察・実験に関する研修を行った。中学校では、より専門的な知識を深めるために地デジアンテナ作成研修を行った。参加者からは、新学習指導要領に即した、今後の授業に役立つ研修ができたという感想が多数寄せられた。また、身近なもので教材を作ることができ、授業で活用することができるものが多い有意義な研修になった。
(2) 授業の前の時期に研修を行うことで、参加者が学んだことを各学校に還元し、理科の授業改善が図られている。
(3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、実感を伴った理解を図りながら、子どもたちに科学的な見方や考え方を養っていくうえで、理科教育センターが担う役割や今後の期待はますます大きなものとなっている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行う児童生徒を多く育てていくため、また、「観察・実験の結果などを整理・分析したうえで、解釈・考察し、説明すること」などの資質・能力の育成を目指し、今後も、各学校における理科の探究的な授業改善につながる各種研修等を企画・実施していく。特に、プログラミング的思考を活用した授業を今後展開していくうえでも、理科センター研修の中に位置づけ、教員の資質向上につなげていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	英語力育成事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興 計画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進	予算 科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	各中学校区へのALTの配置や各小学校へのAETの派遣等を行い、市内小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習を充実させるとともに、小中連携による系統的な学習を推進し、児童生徒に英語力を身に付けさせる。
事業内容	(1)ALT(3名)、AET(3名)を市内13小中学校に派遣し、小学校の外国語活動や中学校の外国語学習の支援を行う。 (2)1日英語だけで過ごす「English Day」事業を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	7,792	補正額等		合計	7,792	決算額	6,497
29	当初予算額	2,597	補正額等		合計	2,597	決算額	2,251

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) ALT3名を市内13の小中学校に学期ごと計画を立てて派遣し、小学校の外国語活動・中学校の英語学習への支援を行った。</p> <p>① ALT派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1学期109回、2学期114回、3学期 73回、計298回 (H29 1学期100回、2学期114回、3学期 83回、計297回)</li> <li>・中学校 1学期 86回、2学期 96回、3学期 59回、計241回 (H29 1学期 85回、2学期 89回、3学期 47回、計221回)</li> </ul> <p>② AET派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1学期 56回、2学期165回、3学期 43回、計264回</li> </ul> <p>③ ALT・AET派遣回数 平成30年度 803回(H29 518回:ALTのみ)</p> <p>(2) 1日英語だけで過ごす「English Day」事業を実施した。 ※()はH29</p> <p>講師(市内外のALT) : 7名(6名)</p> <p>参加者(小学校5・6年生、中学生):25名(15名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)ALT(3名)、AET(3名)を市内13小中学校に派遣し、小学校の外国語活動や中学校の外国語学習の支援を行うことで、ネイティブによる音声に触れる機会の確保、教員の授業づくりに対する支援を行うことができた。</p> <p>(2)市内外のALT7名が講師となり、1日英語だけで過ごす「English Day」事業を7月に実施した。参加した小中学生25名の 英語に対する興味・関心を高めることができた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)児童生徒の英語力育成や教員の授業づくりに対する支援のため、ALTやAETを授業だけでなく、校内研修にも派遣していく。 (2)1日英語だけで過ごす「English Day」の場所を文化センターからTASSHOにし、活動の幅を広げる。

※ ALT=外国語指導助手(外国人)    AET=外国語指導支援員(日本人)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
教育振興計画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実		

## 2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	(1)教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 (2)不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,755
29	当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,684

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育相談室の概要</p> <p>① 相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名)</p> <p>② 相談の件数： ○学 校 来室相談 63件、電話相談 294件、学校訪問 82件 ○保護者 来室相談 200件、電話相談 425件、家庭訪問 20件</p> <p>(2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)</p> <p>① 在籍児童生徒：計16名(小学生1名、中学生15名)</p> <p>② 開設日数：210日(勤労青少年ホーム：192日 フローラSAGAE:9日 市立図書館：9日)</p> <p>③ その他：長期休業中の学習(2日)、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)平成30年度の不登校による年間30日以上欠席者 小学生5名(前年度5名)、中学生54名(前年度46名)</p> <p>(2)寒陵スクール在籍児童生徒進路状況 中3(9名)の内、8名は志望する県立高校、私立高校、通信制高校に進学した。1名の進路は未定。</p> <p>(3)寒陵スクールから学校への復帰者 3名(中学生)</p> <p>(4)寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)寒陵スクールが、保護者や児童生徒の心の拠り所となるよう、個々の悩みに寄り添っていく。その中で、学校への登校を促すことや、寒陵スクールで自分の生き方を見つめ直すなど、自立を促す取り組みをさらに進めていく。 (2)各学校の生徒指導担当者や教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、福祉部局や外部の専門機関と連携していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学力向上支援員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけさせるために、学校の状況に応じて学力向上支援員を配置し活用する。
事業内容	各学校への学力向上支援員の配置を配置し、学力の向上に向けた学習支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	20,683	補正額等		合計	20,683	決算額	17,441
29	当初予算額	19,453	補正額等		合計	19,453	決算額	18,452

## 4. 事業の実施状況

(1) 配置校	寒河江小(3名)、寒河江中部小(3名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) 計12校(19名)H29と同数
(2) 業務内容	担任による学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行う。
(3) 勤務体制	年間200日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務

## 5. 事業の評価

(1) 学校から出された配置申請や、国や県の加配、学級編制の状況を考慮しながら、それぞれの学校が抱える課題に適切に対応できるように学力向上支援員を配置した。
(2) 各学校では探究型学習を通して、児童生徒に主体的に課題を解決する力を育成している。授業の中で、学力向上支援員が、児童生徒のつぶやきや気づきを拾い上げるなど、教員の補助をしながら学力向上につなげる活用も行われた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 小中学校の通常の学級において特別の支援や配慮を要する児童生徒が、小学校で183名、中学校で105名いることから、特別支援教育補助員(寒河江小、寒河江中部小、南部小、柴橋小、陵東中、陵南中、計6名)を配置し、学力向上と特別な支援の両面から児童生徒の成長を支えていく。 (2) 学力向上支援員・特別支援教育補助員の人材を確保するために、時給を1,000円にする。 (R1予算 32,240千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	1,237	補正額等		合計	1,237	決算額	725
29	当初予算額	1,259	補正額等		合計	1,259	決算額	857

## 4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校: 3校、 8名、延べ 605回 中学校: 1校、 3名、延べ 228回 合計: 4校、 11名、延べ 833回

## 5. 事業の評価

<p>家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっているが、登下校往復での支援でないがゆえに、保護者の都合がつかない場合は対象児童生徒がひとりで登下校する場合がある。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、登下校往復での支援が出来る予算を要求していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 〔教育振興計〕	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子供たちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。 ※ICT (Information and Communication Technology) =情報や通信に関する技術の総称
事業内容	小中学校におけるICT関連機器について、安定的な使用ができるよう保守点検業務を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	3,766	補正額等		合計	3,766	決算額	3,759
29	当初予算額	633	補正額等		合計	633	決算額	632

## 4. 事業の実施状況

各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。
---

## 5. 事業の評価

平成30年度は、ICT関連機器のメンテナンス等委託業務を実施し、学校で使用しているICT機器の不具合等に対応し、ICT機器の円滑な活用が図られた。 ICT活用支援員については、平成29年度当初2か月間のみ実施して以降、配置になっておらず、教職員からのICT活用支援に関する要望に対応できなかった。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和元年度から、委託業務として「情報教育推進支援員」を配置。原則平日1校ずつ学校訪問し、パソコン等ICT関連機器に関する学校からの様々な質問や要望に対応することとしている。また、学校から要望の高い校務支援システム(通知表や指導要録等の作成システム)について、全校に導入する予定。 <div style="text-align: right;">R1予算 12,300千円</div>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	12,899	補正額等		合計	12,899	決算額	8,555
29	当初予算額	9,884	補正額等	812	合計	10,696	決算額	8,236

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童:187名 金額 7,784,391円 H29 187名 7,589,605円 このうち入学準備金対象者 17名 860,200円 H29 8名 324,800円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童:33名 金額 769,750円 H29 31名 646,302円
他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)	
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・南陽市・山辺町・舟形町・真室川町・鮭川村・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町
通学費	酒田市・新庄市・上山市
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高島町・川西町・庄内町

## 5. 事業の評価

準要保護児童に係る「新入学学用品費等」の年間支給額をH29年度よりも約50%増加した。(20,470円/人→40,600円/人) 次年度は制度をより一層広く周知し、定着を図りたい。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・スケート靴 等)、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、家庭学習費(参考書購入費 等)の導入を奨励しているが、現在、寒河江市においては導入していないため、援助費を検討していく。 特に、県内市町村では導入されていない家庭学習費について、学力向上のためにも検討を進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進  信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	15,762	補正額等		合計	15,762	決算額	12,173
29	当初予算額	14,228	補正額等	1,612	合計	15,840	決算額	13,429

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒:116名 金額 11,465,664円 H29 144名 12,752,701円 このうち入学準備金対象者 26名 1,492,400円 H29 27名 1,279,800円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒:14名 金額 707,035円 H29 14名 675,686円
他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)	
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・長井市・南陽市・山辺町・真室川町・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町
通学費	酒田市・新庄市・上山町・三川町
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町
PTA 会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高島町・川西町・庄内町

## 5. 事業の評価

準要保護生徒に係る「新入学用品費等」の年間支給額をH29年度よりも約50%増加した。(23,550円/人→47,400円/人) 次年度は制度をより一層広く周知し、定着を図りたい。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・柔道、剣道用具等)、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、家庭学習費(参考書購入費等)の導入を奨励している。 寒河江市ではR1年度からクラブ活動費を支給項目に追加した。R1予算3,373千円(上限29,850円、113名分) 他の項目については、寒河江市においては導入していないため、援助費内容の拡大を検討していく。 特に、県内市町村では導入されていない家庭学習費について、学力向上のためにも検討を進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	4 食育の推進		2 小学校費
	豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進		2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	109,346	補正額等	358	合計	109,704	決算額	103,610
29	当初予算額	108,012	補正額等	1,645	合計	109,657	決算額	101,643

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2) 「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3) 米や野菜の栽培・収穫活動など体験を通じた食育を推進し、食べ物の大切さや生産者への感謝の気持ちを育てた。</p> <p>(4) 給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(6) 小学校給食費の助成</p> <p>(7) 多発した異物混入に対応するため「学校給食における異物混入対策マニュアル」を作成。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>① 平成29年度から開始した給食費助成を継続し、保護者の教育費負担の軽減が図られた。 (給食費1食280円。28年度までは260円。)</p> <p>(1) 小学校給食費の半額を助成 小学校給食費単価を見直し給食内容を充実させ、保護者が負担する給食費の半額を助成。</p> <p>(2) 小学校の第3子以降の給食費は全額助成 対象範囲を高校3年生までとして、小学校に在籍する児童が第3子以降に該当する場合は、その対象児童の給食費を全額助成。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	平成29年度から開始した給食費助成については今後も継続する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進	項	3 中学校費
		目	2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	189,470	補正額等	651	合計	190,121	決算額	189,401
29	当初予算額	189,224	補正額等	51	合計	189,275	決算額	188,257

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2) 「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成。寒河江産食材を積極的に取り入れると共に食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3) 給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(4) 寒河江産冷凍カットほうれん草を使いやすいようにペーストに再加工。カレー、スープ等の献立に使用した。</p> <p>(5) 地方創生交付金を使った食育事業を実施</p> <p>(6) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(7) 中学校給食費の助成</p> <p>(8) 多発した異物混入に対応する為、「学校給食における異物混入対応マニュアル」を作成。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 平成30年度中学校給食における地産地消の割合は、県産率48.8%(H29 51.1%)、寒河江産率 36.3%(H29 40.1%)ともに昨年度と比較して減少している。これは、29年度は寒河江産冷凍カット野菜(かぼちゃ、小松菜、ほうれん草)を製造し給食に取り入れたが、製品化したものに問題があり、製造を中止したこと、生産者の高齢化と後継者不足により供給量が減少したこと、天候不順が品質に影響し、納入元を地元生産者団体から青果小売店に切り替えたことなどが理由として考えられる。</p> <p>(2) 平成29年度から開始した給食費助成を継続し、保護者の教育費負担の軽減が図られた。 ① 中学校給食内容を充実させるが、充実させた分(1食15円)は市が負担することで、保護者の経済的負担は増えないようにする。</p> <p>(3) 地方創生交付金を使った食育事業。 寒河江の伝統野菜である葉山大根についての食育事業を実施。陵南中学校2学年において葉山大根についての授業と調理実習を行った。 市内小学校、保育所の調理師からレシピを募集。その中から3品を試作し、給食で提供する1品を決定した。選ばれた「鶏肉と大根のバター醤油」は9月22日の給食で提供し、その日は市長等を招いての合同給食会とした。「葉山大根を使った美味しいレシピ集」も作成し、市内各施設に設置。 また、アグリランド産直センターや木育食育フェスでレシピ集にある大根を使った料理を調理し、ふるまった。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	新年度からこれまでの給食費助成を、1食あたり15円の助成から半額助成に拡充する。 R1予算 191,242千円

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にしている活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 8 市史編纂費

## 2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集、調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1)市史編纂専門員3名の配置 (2)郷土資料の収集、解説、研究 (3)市史等の原稿執筆・編集・発刊

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	10,946	補正額等		合計	10,946	決算額	10,062
29	当初予算額	7,084	補正額等		合計	7,084	決算額	6,532

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市史編纂委員会を開催して、市史の編集・発刊等について協議した。  (2)寒河江市史別編「環境・考古編」、寒河江市史資料編「新編 寒河江の歴史年表」を発刊した。  (3)寒河江市史編纂叢書第88集「新田村関係資料」を発刊した。  (4)歴史文化活動推進員を新たに委嘱して、市内の絵馬の調査を依頼した。  (5)市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、市報5日号「生涯学習のまど」内に、「市史編さんだより」を掲載した。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)市史別編「環境・考古編」、市史資料編「新編 寒河江の歴史年表」、市史編纂叢書を発刊し、市民の歴史文化への関心を深め、市の歴史を後世に伝えることができた。  (2)市内所在絵馬の調査を実施するとともに、慈恩寺最上院日記等古文書の解説を行い、市内の歴史・文化資料の保存と活用に応正に対応した。  (3)「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に対応し、ふるさとの歴史の啓発・普及に努めた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)市史編纂委員会において策定した、市史編纂事業計画に基づいて発刊作業を進める。令和元年度は、寒河江市史資料編「慈恩寺最上院日記」の発刊となる。また、市史編纂叢書第89集と、市史資料所在目録を発刊する。  (2)市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員の協力を得ながら、市史編纂事業を実施し、郷土資料の散逸・消失を防ぎ調査研究と普及を行う。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	文化財保存活用事業	生涯学習課
		歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目
教育振興計画	2 郷土の歴史と文化を大切にすることを推進	款 10 教育費
	ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	項 4 社会教育費
	民俗芸能や伝統行事の保護と伝承	目 9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)県指定天然記念物種蒔ザクラを活用し、まちづくり及び観光振興を図る。 (2)民俗芸能活動をデジタル映像化して、保存活用及び伝承活動を推進する。
事業内容	(1)種蒔ザクラ環境整備に係る事業用地購入及び物件移転等補償 (2)民俗芸能活動のデジタル映像化

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	11,042	補正額等	△ 44	合計	10,998	決算額	10,655
29	当初予算額	1,327	補正額等		合計	1,327	決算額	1,151

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)種蒔ザクラ環境整備に必要な私有地を取得した。 (2)市指定無形民俗文化財を撮影収録し、デジタル映像化した。(平成29・30年度)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)種蒔ザクラ環境整備に必要な私有地を取得した。 (2)市指定無形民俗文化財の活動をデジタル映像化し、保存団体の伝承活動を支援した。ある保存団体からは、「この収録を通して、市から気にかけてもらえていると思うと、継承の励みになる」と好意的なコメントがあった。収録映像については、保存団体での活用や市民への公開によって、文化財の保存活用を図っていく。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)令和元年度は駐車場等を整備し、観光振興と地域活性化を図る。 (2)文化財を後世に伝えるため、保存と活用に努めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課
		歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目
教育振興計画	2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	款
		10 教育費
		項
		4 社会教育費
		目
		9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	(1)史跡の追加指定関係の遺跡調査を行う。 (2)文化財保護法に基づき市内遺跡の調査を行い報告書を作成し、埋蔵文化財の記録保存を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	2,133	補正額等	合計	2,133	決算額	2,092
29	当初予算額	2,256	補正額等	合計	2,256	決算額	2,225

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)発掘調査</p> <p>①史跡の追加指定に向けて、上の寺遺跡を調査した。</p> <p>②市内遺跡の問合せに対応し、調査が必要な高瀬山遺跡・日田城の内跡については、試掘調査を実施した。</p> <p>(2)工事立会</p> <p>国史跡「慈恩寺旧境内」ならびに埋蔵文化財包蔵地「慈恩寺遺跡」の水道管布設替えに伴い、工事立会を行い、地下遺構の保護に努めた。</p> <p>(3)慈恩寺調査検討委員会</p> <p>委員会を2回開催し、史跡の追加指定に向けて、上の寺遺跡の発掘調査の進め方の検討や調査状況を報告した。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)上の寺遺跡の外縁部と推定される2ヶ所の内容確認調査を行い、追加指定に向けた範囲確定のための新たな資料を得た。</p> <p>(2)開発工事に対応した調査・立会を行い、市内に所在する遺跡の保護を図り、後世に適切に継承することができた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)慈恩寺文化の解明と史跡追加指定のため、国や県の指導を受けながら、慈恩寺調査検討委員会で協議し、計画的に発掘調査を行っていく。</p> <p>(2)市内遺跡における工事や開発事業の情報収集に努め、随時対応する。</p> <p>(3)埋蔵文化財の調査や「埋蔵文化財フェア」を開催して、遺跡の価値等について市民に広く周知していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	生涯学習課	歴史文化係
施策体系	<p>【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う</p> <p>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進</p> <p>ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護</p>	教育費	社会教育費
教育振興計画		10	9
		4	歴史文化費
		9	

## 2. 事業の概要

事業目的	<p>(1)県指定文化財である、旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂の保存を図る。</p> <p>(2)郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。</p>
事業内容	<p>(1)郷土館の維持管理</p> <p>(2)郡制時代をテーマに資料館として一般開放</p> <p>(3)郷土館特別展の開催</p>

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	2,204	補正額等	25	合計	2,229	決算額	2,112
29	当初予算額	2,332	補正額等	△ 16	合計	2,316	決算額	2,121

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)県指定有形文化財の維持管理や管理運営等の委託 機械警備、管理業務、清掃業務等の委託料 11件 1,728,203円</p> <p>(2)郷土館一般公開 入館者数1,882人(平成29年度:1,735人) 4月14日～11月11日の土・日・祝日(4月14日～5月31日桜まつり・つつじまつり期間) 郷土学習対応 6月14日三泉小 6月21日高松小 7月5日陵南中 9月28日柴橋小 10月9日南部小 10月10日醍醐小 11月5日寒河江中部小</p> <p>(3)郷土館特別展の開催「寒河江服装専門学校の思い出」9月21日～10月14日 入館者304名(H29 292名) 記念講演 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:27名(H29 54名)</p> <p>(4)郷土館運営協議会の開催 10月26日 H29事業報告・H30事業計画等</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)維持管理等の業務委託や郡会議事堂の窓枠修理により、施設の維持管理に努めた。また、樹木伐採や除草等を実施し、敷地内の環境美化に努めた。</p> <p>(2)郷土館特別展では、寒河江服装専門学校の卒業生も見学する等、来館者層が広がり、郷土館を知ってもらうよい機会となった。</p> <p>(3)郷土館特別展に合わせて、入館者へのアンケートを実施した。市外・県外からも来館していただき、「寒河江にこのような立派な建物があることはうれしい」「歴史や貴重なものは大切に、これからも伝えていってほしい」などの感想があった。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)県指定有形文化財である建物を後世に残すため、適正に保存していく。また、敷地内の環境美化にも努めていく。</p> <p>(2)特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。</p> <p style="text-align: right;">(R1予算 3,435千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
教育振興計画	4 開かれた教育行政の推進 信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進		

## 2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	3,366	補正額等		合計	3,366	決算額	2,623
29	当初予算額	3,128	補正額等	△6	合計	3,122	決算額	2,600

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 4件(H29 3件)(H28 5件)</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 1件(H29 2件) ・死亡叙位 3件(H29 1件)</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成29年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 市教職員感謝状贈呈として、平成30年度末で市内小中学校を最終勤務地として退職した教職員24名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p> <p>(6) 寒河江市総合教育会議の開催 ※平成30年度は2回開催(H29 2回) 【議題】 ○第1回:・①これからの寒河江市の学校のあり方について・②学力向上について ○第2回:・①これからの寒河江市の学校のあり方について</p> <p>(7) 教育委員視察研修 ・長井市致芳コミュニティセンター視察</p> <p>(8) 山形県市町村教育委員会大会が西村山当番・本市で開催され、大会事務局として大会実施運営を行った。</p> <p>(9) 将来的な児童生徒数の減少傾向に対応し、適正規模適正配置等、今後の学校のあり方、将来像等幅広く意見交換を行う会として「寒河江市立学校の今後のあり方に関する懇談会」を実施し、次年度での実質的な協議の場となる検討会開催につなげた。 ※平成30年度は1回開催(H29 3回開催)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 教育委員会内及び学校教育課内の庶務的な事務について、適時、適切な対応を行った。早急な検討が求められている今後の学校のあり方については、次年度での検討会立ち上げを進めることができた。今後、進め方のスピードも課題となっている。</p> <p>(2) 総合教育会議を2回開催し、市長と教育委員会が認識を共有し、十分な意思疎通が図られるよう努め、H30年度は喫緊の課題である本市の「学校のあり方」を議題に市長及び教育委員会の意見交換を行い、教育行政の課題等が市政への反映ができるよう課題認識の共有を図ることができた。また、その他の議題については会議の回を重ねるごとにテーマ設定が難しくなっていることが課題となっている。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	H29.30年度開催した「寒河江市立学校のあり方に関する懇談会」で出された意見等を参考にしながら、本市の学校のあり方についての基本的な考えを策定するための検討委員会を立ち上げ、運営を進め、学校、保護者、地域等と合意形成を図りながら、対応していく必要がある。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底		

## 2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	142,962	補正額等	434,934	合計	577,896	決算額	318,280
29	当初予算額	186,440	補正額等	5,589	合計	192,029	決算額	188,339

※H30→H31繰越=255,397千円

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、FF暖房機点検清掃業務、ガス機器等点検業務、各小学校樹木剪定 等 126件(H29 67件)</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>各小学校ガス機器点検後修繕、高松小学校体育館雨樋ヒーター修繕、南部小・高松小暖房機修繕等 126件(H29 122件)</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>各小学校普通教室等空調設備工事、中部小油タンクライニング工事、小学校給食室トイレ洋式化改修工事、小学校FF暖房機更新等工事 等 61件 (H29 39件)</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>児童用椅子、事務用椅子 外</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1) トイレ洋式化の推進について、国からの衛生管理面での改善指導としてあった給食室トイレの洋式化を未整備8校において実施し、トイレ環境の整備に努めた。</p> <p>(2) 要望の高かった小学校普通教室、特別支援教室等のエアコンを整備し、猛暑に対応した快適な学習環境の整備に努めた。本市のエアコン工事に関しては国の補助制度が確定する前の段階で事業開始の判断を行ったことにより、他市町村よりも先んじて工事発注ができ、国の補助制度実施による全国的な小中学校エアコン整備による混乱を避け、予定どおり整備を進めることができた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) トイレ洋式化については、災害時には救護所にもなりうる体育館トイレを対象に進めていくが、今後の整備計画については、学校現場の要望を踏まえながら検討していく必要がある。</p> <p>(2) 施設老朽化に伴う突発的な修繕や工事が増えており、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。安全面を最優先にしながら優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底		3 中学校費
			1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	122,263	補正額等	57,672	合計	179,935	決算額	129,988
29	当初予算額	140,186	補正額等	1,264	合計	141,450	決算額	137,259

※H30→H31繰越=24,348千円

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、貯水槽清掃点検業務、陵東中屋内運動場床改修等業務、設計監理業務、空調設備整備実施設計監理業務委託、各中学校樹木剪定等 56件 (H29 39件)</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>陵東中柔道場部室照明修繕、陵南中暖房機修繕、陵西中体育館女子トイレ床排水修理等 48件 (H29 60件)</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>陵東中屋内運動場床改修等工事、1・2年生普通教室等空調設備整備工事、陵南中特別支援学級改修工事 陵西中1年生教室等雨漏れ修理工事等 38件(H28 29件)</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>生徒用椅子類、陵南中理科室用角椅子及び特別支援教室用備品 外</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1) 陵東中学校屋内運動場の床全面の改修と、合わせて体育館トイレの洋式化を進め、安全面の迅速な対応と適時適切な整備が図られた。</p> <p>(2) 中学校3年に引き続き、要望の高かった1、2年生の普通教室、特別支援教室等のエアコンを整備し、猛暑に対応した快適な学習環境の整備に努めた。</p> <p>本市のエアコン工事に関しては国の補助制度が確定する前の段階で事業開始の判断を行ったことにより、他市町村よりも先んじて工事発注ができ、国の補助制度実施による全国的な小中学校エアコン整備による混乱を避け、予定どおり整備を進めることができた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>築50年を超える陵東中を筆頭に3つの中学校とも施設老朽化が著しく、突発的な修繕、工事等の対応が非常に増えてきており、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。</p> <p>今後の施設整備計画策定を踏まえながら、安全面を最優先にしながら優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 2 小学校費 2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	18,510	補正額等	△84	合計	18,426	決算額	17,773
29	当初予算額	18,203	補正額等		合計	18,203	決算額	17,307

## 4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,179名 (H29 2,181名) ④尿検査 2,179名 (H29 2,181名)
② 耳鼻科検診	1,397名 (H29 1,620名) ⑤貧血検査 375名 (H29 303名)
③ 心電図検査	250名 (H29 361名)
(2) 教職員検診	
① 一般検診	190名(95.0%) H29 162名(90.0%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	158名(77.1%) H29 111名(94.9%)
③ 胃がん(40歳以上)	119名(72.6%) H29 109名(77.8%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者183名中受診者152名 受診率83.1% H29 受診対象者182名中受診者146名 受診率80.2%	

## 5. 事業の評価

児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 教職員検診において、ストレスチェック(H29・80.2%⇒H30・83.1%)の受診率が増加した。今後も受診率向上の対応について検討していく。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、児童及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 3 中学校費 2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	8,582	補正額等		合計	8,582	決算額	7,929
29	当初予算額	8,440	補正額等	△1	合計	8,439	決算額	7,808

## 4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,109名 (H29 1,181名) ④尿検査 1,113名 (H29 1,188名)
② 耳鼻科検診	561名 (H29 606名) ⑤貧血検査 962名 (H29 1,046名)
③ 心電図検査	358名 (H29 359名)
(2) 教職員検診	
① 一般検診	83名 (95.4%) H29 84名 (95.5%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	46名 (78.0%) H29 47名 (87.0%)
③ 胃がん(40歳以上)	48名 (81.4%) H29 48名 (78.7%)
※ 受診人数後の( )内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者88名中受診者54名 受診率61.4% H29 受診対象90名中受診者44名 受診率48.9%	

## 5. 事業の評価

生徒及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 教職員検診において、ストレスチェック(H29・48.9%⇒H30・61.4%)の受診率が増加した。今後も受診率向上の対応について検討していく。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、生徒及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課
			学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 信頼される教育の推進	項	2 小学校費
	信頼される教育環境づくり	目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	14,708	補正額等	△ 44	合計	14,664	決算額	14,451
29	当初予算額	15,322	補正額等	249	合計	15,571	決算額	15,314

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

- ① 教材教具、図書等一般事業 13,365 千円 (H29 13,595千円)  
 ② 理科教育振興設備整備事業 1,086 千円 (H29 1,719千円)

主な購入備品 ・人体骨格模型(寒河江中部小)  
 ・生物顕微鏡(高松小)  
 ・腕の骨格模型(醍醐小)  
 ・解剖顕微鏡(三泉小)

## 5. 事業の評価

- (1) 学校からの要望にすべてに応じることはできない状況であるが、学習活動に必要な消耗品や図書等、限られた予算の中で整備を進めた。  
 (2) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、顕微鏡などの実験器具等を整備したことにより、指導内容の充実に繋がった。また、備品によっては発注から納入まで時間のかかるものもあるため、年度の早い時期からの対応に努めた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。 限られた予算内ではあるが、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進  信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	10,383	補正額等	△ 150	合計	10,233	決算額	10,000
29	当初予算額	11,934	補正額等		合計	11,934	決算額	11,801

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
① 教材教具、図書等一般事業	9,479 千円 (H29 10,803千円)
② 理科教育振興設備整備事業	522 千円 (H29 998千円)
主な購入備品 ・力学台車記録タイマーセット ・電源装置 ・双眼実体顕微鏡(陵南中)	

## 5. 事業の評価

(1) 学校からの要望にすべてに応じることはできない状況であるが、学習活動に必要な消耗品や図書等、限られた予算の中で整備を進めた。
(2) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、顕微鏡などの実験器具等ことにより、指導内容の充実に繋がった。備品によっては発注から納入まで時間のかかるものもあるため、早い時期からの対応に努めた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。限られた予算内ではあるが、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進  ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。 ※ICT (Information and Communication Technology) =情報や通信に関する技術の総称
事業内容	・児童の授業用パソコンの整備。 ・授業等で使用する電子黒板の整備。 ・校務用(職員室等)パソコンの整備。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	25,361	補正額等	△ 229	合計	25,132	決算額	23,674
29	当初予算額	18,965	補正額等	137	合計	19,102	決算額	18,907

## 4. 事業の実施状況

<p>小学校パソコン機器等</p> <p>○パソコン 児童用デスクトップPC195台、児童用ノートPC58台、教師用デスクトップPC21台、電子黒板用PC25台、校務用PC180台</p> <p>○プリンター A3モノカラーレーザー16台、A3カラーレーザー10台、A4モノカラーレーザー10台、A4カラーレーザー6台、A3カラーインクジェット複合機3台、A3カラーインクジェット3台</p> <p>○電子黒板等 電子黒板25台、プロジェクター10台</p> <p>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。</p> <p>例年、児童数の増減に合わせて、1クラス全員が授業でパソコンを使用できるよう配置し、情報活用能力を育てる情報教育の充実が図られた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>令和元年度、タブレットパソコンを全小学校に整備し、1クラス全員が授業でタブレットパソコンを使用できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">R1年度予算 35,953千円</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進  ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。 ※ICT(Information and Communication Technology) =情報や通信に関する技術の総称
事業内容	・生徒の授業用パソコンの整備。 ・授業等で使用する電子黒板の整備。 ・校務用(職員室等)パソコンの整備。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	13,554	補正額等		合計	13,554	決算額	13,012
29	当初予算額	12,511	補正額等		合計	12,511	決算額	11,940

## 4. 事業の実施状況

<p>中学校/パソコン機器等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン 生徒用デスクトップPC60台、生徒用ノートPC50台、教師用デスクトップPC6台、電子黒板用PC15台、校務用PC100台</li> <li>○プリンター A3モノクロレーザー3台、A3カラーレーザー複合機3台、A3カラーレーザー5台、A4モノクロレーザー10台、A3カラーインクジェット複合機2台、A3カラーインクジェット3台</li> <li>○電子黒板等 電子黒板15台、プロジェクター3台</li> <li>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。 例年、児童数の増減に合わせて、1クラス全員が授業でパソコンを使用できるよう配置し、情報活用能力を育てる情報教育の充実が図られた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校と同様にタブレットパソコンについて、中学校においても整備されるよう予算要求を行っていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 多様な学習環境づくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

30	当初予算額	7,556	補正額等	160	合計	7,716	決算額	6,942
29	当初予算額	7,164	補正額等	5	合計	7,169	決算額	6,455

## 4. 事業の実施状況

(1) 利用者	： 陵西中学校 9名 (幸生地区5名・田代地区4名) ※H29 9名 (幸生地区2名・田代地区7名) 白岩小学校 5名 (田代地区5名) ※H29 5名 (田代地区5名) しらいわ保育所 9名 (幸生地区9名) ※H29 5名 (幸生地区5名)
(2) 運行状況	： 陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ467日) ※H29 (延べ473日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ132日) ※H29 (延べ132日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ19日) ※H29 (延べ19日) ふるさと学習での利用 (延べ5日) 慈恩寺4日・老人ホーム1日 ※H29 (延べ6日) 慈恩寺5日・老人ホーム1日

## 5. 事業の評価

各小中学校からの校外学習活動や部活動以外でも利用拡大ニーズが増えており、それに対して可能な限り対応した。 (悪天候時や熊出没時における運行など) バス運行業務委託業者との連絡を遅滞なく行い、スムーズなスクールバス利用が行われた。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各小中学校からの利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行業務委託業者に指導を行う。

---

---

令和元年 8 月

寒河江市教育委員会

	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
所 在	〒991-8601 山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西 333
T E L	0237-86-2111 (代表)	0237-86-5111
F A X	0237-86-8691	0237-86-2201
Email	kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp	shogaku@city.sagae.yamagata.jp

---

---